

あい♡
らぶ♡
ゆー

by 虹の会

2023年
7月
第47号



2023年度3つの広げる大運動 強化月間スタートします！

2022年度は「3つの広げる大運動」にご賛同・ご協力いただき誠にありがとうございました！

500万円の寄付目標を達成いたしました！これは当たり前ではなく、皆さま一人ひとりの気持ちで虹の会に集まってできた結果です。皆さまのご厚意に心より感謝いたします。

2019年度からはじまった「3つの広げる大運動」は今年で早4年目となりました。年を重ねるごとに運動の規模も大きくなり、協力してくださる方も増えてきたことを実感しています。

昨年度は虹の会創設20周年という大きな節目を迎えました。

新たな一歩を踏み出すことと、虹の会の理念「その人らしい生活を支える」を大切に、地域に根付き愛される社会福祉法人としてこれからも邁進してまいります！

本年度もお力添えよろしくお願いいたします！

7月から、医療生協組合員支部の運営会議に参加させていただき、昨年度のお礼と3つの広げる大運動のご協力のお礼についてお話しさせていただきます。

お近くに「介護サービスを利用したい」「介護の現場で働きたい」と考えている方がいらつしやいましたら、ぜひ！お声掛けください。



今年も目標達成に向けてがんばります！

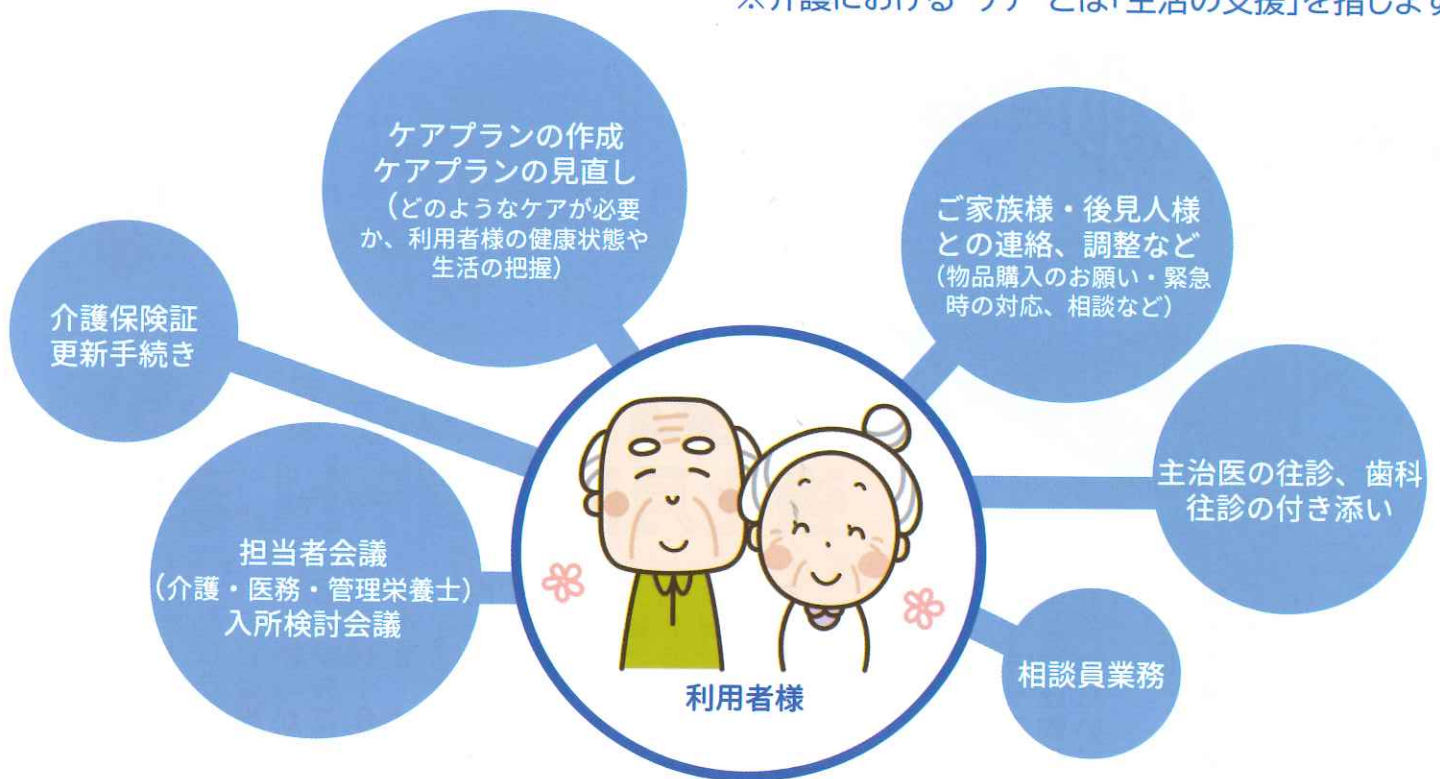
- 3つの広げる大運動とは…
- ・寄付金目標500万円
 - ・介護サービスの利用促進
 - ・人材募集(紹介)

7月～9月は強化月間中！



施設ケアマネって💡 どんなお仕事？

※介護における“ケア”とは「生活の支援」を指します



入所の利用者様が暮らしやすいように、介護士・看護師・管理栄養士や主治医、病院とのパイプ役として連携しています！



あまの里施設ケアマネ
錦織美穂さん

去年の7月末に、施設ケアマネジャーとして入職いたしました。あまの里ではケアマネジャーの仕事と合わせて、入居相談業務（相談員）を兼ねています。講習を受け、認定調査を行う事ができる様になり、介護保険の更新時は更新の手続きと共に認定調査を行います。今後も、利用者様がよりよい環境で、安心・安楽に日常生活を送る事ができる様に支援に努めてまいります。また、御家族にもあまの里に入居してよかったと思っただけのように日々努力します。

立花あまの里特養施設ケアマネージャーの平尾と申します。施設ケアマネージャーとして事務所勤務半分、介護職として現場勤務半分で勤務させていただいています。利用者様が安全に楽しく日常生活を送れるように、利用者様と家族様・後見人様、職員、その他病院などの事業所などの外部をつなぐパイプ役としてサポート出来たら…と思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



立花あまの里施設ケアマネ
平尾信子さん

色んな職種が連携して 利用者様の生活のサポートをしています！

虹の会の 対応と対策

原則「3密」回避を維持しながら履行する
3密・・・密閉・密接・密集

利用者様が安心して楽しく過ごしていただけるように
虹の会は「3密回避」を継続しています



職員



- ・換気、手指消毒、マスクの着用は継続
- ・参集型会議・研修を行う
- ・入浴介助時のマスク、アイシールド・ゴーグル着用の解除
- ・コロナ感染時の期間は医師の指示に従い、インフルエンザ感染に準ずる対応

面会



- ・エントランスでの対面面会（居室での面会は夏以降感染状況次第対応）
- ・面会は1回4人、15～20分間まで（各施設の規定に準ず）
- ・手指消毒・マスク着用
- ・オンライン面会継続

行事



- ・外出、飲食を伴う外出は原則3密回避を維持して行う
- ・施設行事のまつり、家族を招いての施設行事、施設見学会の解禁
- ・デイサービスにボランティアを招く

対策



- ・換気、手指消毒、必要に応じた拭き掃除
- ・マスク着用、送迎車の消毒、発熱時の抗原検査の継続
- ・出勤前に体温測定

※あまの里、立花あまの里の施設では入居者様・職員が
6月までに6回目のワクチン接種を行いました！

5/21 後援会えがお学習会/第6回総会

立花南生涯学習プラザにて後援会えがお学習会・第6回総会を開催いたしました。

第一部の学習会は「いつまでも明るく楽しく元氣よく、一緒に考えよう終活について」をテーマに講師・毛利倫氏を迎え講義していただきました。

学習会には後援会会員、組合員、虹の会職員総勢74名が参加。当日参加の方も数名おられ、皆さんの「終活について」の関心の高さがうかがえました。

学習会中、資料に熱心にメモを書かれています。

質疑応答の中でも「終活についての不安」や「介護保険について」などが上がりました。

皆さまの悩みや疑問に寄り添える学習会を今後も企画していきます！



講師：毛利倫氏

第二部、第6回総会では2022年度活動報告からはじまり、決算・監査報告後、2023年度活動計画提案として「3つの広げる大運動」では後援会えがおとして恒常的な支援を行うこと、クリーン活動では園芸部の設立、介護情勢学習会・施設見学会・広報活動の拡大について提案がありました。

その後新任役員の紹介が行われ、虹の会職員から2名が選任されました。

「コロナ禍の規制が緩和され、活動の幅も大きく広がりました。地域に根付き愛される虹の会と共に歩む“後援会えがお”としてこれからも活動していきます！」



5/25 虹の会全職員集会

「コロナ禍中はリモートでの開催だった全職員総会。3年ぶりに参集し過去最高の104名の職員が集まりました。久しぶりに会えた職員はいきいきしていました。」

2023年度虹の会スローガン

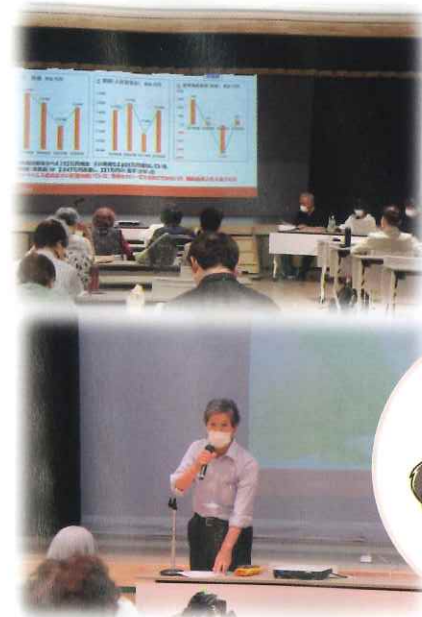
「10の基本ケアの実践を通し、人権を尊重し寄り添う介護、生活ケアをさらに高める出発点にしていこう」

講師として大阪健康福祉短期大学 小田教授を招き、「10の基本ケア」の学習会をおこないました。

新入職員も含め改めて学びを深めました。

事業所代表による「職場自慢」の発表では、大変盛り上がりました。

「コロナ禍中の入職で事業所との交流が少なかった職員は、「虹の会の事業所について知れてよかったです！」と好評の声が届きました。」



虹の会は“職員の学び”に力を入れています！



入社1年目の職員を対象におこないました。

「民医連について」「虹の会の歴史・基本ルール」などを学び、決められた議題について班ごとにグループディスカッションをおこないました。

午後からは車で虹の会の事業所を巡りました。

5/17
新入職員研修

感想

（民医連について）：民医連という組織について詳しく聞いてよかったです。歴史が古く規模も大きい、そこに所属している法人なので働くうえで安心だと思いました。

（虹の会の歴史について）：各事業所の場所であったり、職員数がわかった。事業所についてクイズ形式で学ぶことができたので分かりやすかった。

（グループディスカッションについて）：施設と訪問介護は同じ介護でも違う事がいくつもあり興味深く、お話がとても勉強になり楽しかったです。



6/21
2年目研修

2年目研修では、一年前といまの自分を比較、所属している上司からコメントをもらい振り返りをしました。

また、福祉用具を使用した実技では利用者様はもちろん、職員も負担がかからない移乗の方法などを学びました。

感想

（グループディスカッション）：人員不足についての思いがみんな強かった。新人教育にも力を入れてほしいです。

文字におこして発表することで自分がどのような事を考え業務にあたっているか客観視することができました。

（ベッドから車いすへの移乗）：スライディングボードの正しい使い方を学びました。とても介助しやすかったので自分の部署にも設置してほしいです。スムーズに移動できた、自分にも負担が少なかったです。



デイサービス木かけ 外出レクリエーション！

5月15日～6月1日まで
利用者様の要望が多か
った近くのドラッグスト
アへ買い物に出かけまし
た。
思い思いの商品を購入
され「楽しかった」「ま
た行きたい」と満足され
ていました。
これからもいろいろな
企画を実施しますので、
今後ともどうぞよろしく
お願いいたします！



皆さんに楽しんで
いただけて
職員もにっこりです♪



ヘルプステーションなにわの 一緒に働く仲間を紹介します！

勤続年数長い職員が多いのも
なにわの魅力のひとつです

安徳 恵美子(20年)：あつという間の20年、早
かったです。すべて上司・仲間・利用者様
のお陰です。只々感謝です、ありがとうございます。
井上 照美(20年)：入社当初は身体介護を覚え
るため少しかだけ勤務する予定が気がつけば20
年過ぎていて。職場の環境が良く一人で悩む
事なく解決する事が出来るので長く勤務がで
きていえると思います。
河野 のり子(20年)：20年と言われあまり意識
しておりませんでした。振り返ってみると
色々困難な事がありました。これからも一層
困難を乗り越えてステーションの為に努力し
ていきたいと思えます。



梶原 洋子(10年)：訪
問先の利用者様から
「待ってたよ」「ま
た来てね」の声をい
ただき、健康に気を
つけ笑顔で続けたい
と思っています。
松本 沙奈絵(10年)：
なにわに就職してか
ら途中産休を頂いた
り、子供の体調不良
でお休み頂いたりし
ての10年でした。今
後も出来る限り頑張
りたいと思えます。



2022年度財務報告書

法人単位貸借対照表

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	473,622,264	448,669,230	24,953,034	流動負債	246,497,924	256,460,301	-9,962,377
現金預金	258,767,867	256,034,107	2,733,760	事業未払金	28,268,197	32,339,890	-4,071,693
事業未収金	199,880,846	180,652,694	19,228,152	1年内返済設備資金借入金	100,534,000	109,034,000	-8,500,000
未収補助金	4,754,000	2,612,793	2,141,207	1年内返済長期運営借入金	8,004,000	8,004,000	0
貯蔵品	3,215,913	3,494,873	-278,960	未払費用	49,817,388	36,653,188	13,164,200
立替金	1,021,471	1,222,359	-200,888	預り金	574,551	685,961	-111,410
前払費用	4,457,167	3,288,532	1,168,635	職員預り金	3,421,069	12,982,223	-9,561,154
仮払金	1,525,000	1,363,872	161,128	賞与引当金	52,749,200	53,457,353	-708,153
固定資産	2,030,151,988	2,109,504,922	-79,352,934	未払法人税等	1,014,300	394,500	619,800
基本財産	1,747,962,609	1,785,409,520	-37,446,911	未払消費税	2,115,219	2,909,186	-793,967
土地	691,819,518	691,819,518	0	固定負債	1,165,005,000	1,273,543,000	-108,538,000
建物	1,520,046,799	1,520,046,799	0	設備資金借入金	946,506,000	1,047,040,000	-100,534,000
建物減価償却累計額	-463,903,708	-426,456,797	-37,446,911	長期運営資金借入金	218,499,000	226,503,000	-8,004,000
その他の固定資産	282,189,379	324,095,402	-41,906,023	負債の部合計	1,411,502,924	1,530,003,301	-118,500,377
建物	751,316,421	751,316,421	0	純資産の部			
建物減価償却累計額	-523,289,588	-483,915,957	-39,373,631	基本金	388,216,235	388,216,235	0
構築物	83,417,734	83,417,734	0	国庫補助金等特別積立金	216,951,117	220,131,309	-3,180,192
構築物減価償却累計額	-56,199,151	-51,258,568	-4,940,583	その他の積立金			
機械及び装置	11,661,362	10,005,212	1,656,150	次期繰越活動増減差額	487,103,976	419,823,307	67,280,669
機械装置減価償却累計額	-10,033,403	-9,871,625	-161,778	うち当期活動増減差額	67,280,669	17,687,504	49,593,165
車両運搬具	7,443,812	7,443,812	0				
車両運搬具減価償却累計額	-7,443,804	-7,443,804	0				
器具及び備品	149,798,533	149,219,988	578,545				
器具備品減価償却累計額	-146,493,936	-141,497,542	-4,996,394				
ソフトウェア	6,372,399	720,731	5,651,668				
長期貸付金		320,000	-320,000				
差入保証金	14,934,000	14,934,000	0				
その他の固定資産	705,000	705,000	0				
資産の部合計	2,503,774,252	2,558,174,152	-54,399,900	純資産の部合計	1,092,271,328	1,028,170,851	64,100,477
				負債及び純資産の部合計	2,503,774,252	2,558,174,152	-54,399,900

法人単位資金収支計算書

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収入			
介護保険事業収入	1,141,977,674	1,141,772,652	205,022
その他事業収入	18,120,000	17,727,158	392,842
経常経費寄附金収入	39,500,000	39,516,808	-16,808
受取利息配当金収入	24,000	24,646	-646
その他の収入	16,262,051	12,147,195	4,114,856
事業活動収入計(1)	1,215,883,725	1,211,188,459	4,695,266
支出			
人件費支出	698,453,038	698,513,247	-60,209
事業費支出	110,281,709	109,962,666	319,043
事務費支出	184,640,447	180,385,044	4,255,403
仕入支出	59,685,000	59,683,372	1,628
支払利息支出	14,302,184	14,300,230	1,954
その他の支出	2,195,000	2,211,947	-16,947
事業活動支出計(2)	1,069,557,378	1,065,056,506	4,500,872
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	146,326,347	146,131,953	194,394
収入			
施設整備等補助金収入	4,600,000	4,754,000	-154,000
施設整備等収入計(4)	4,600,000	4,754,000	-154,000
支出			
設備資金借入金償還支出	109,034,000	109,034,000	0
固定資産取得支出	8,050,000	8,460,695	-410,695
施設整備等支出計(5)	117,084,000	117,494,695	-410,695
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-112,484,000	-112,740,695	256,695
収入			
長期貸付金回収収入	320,000	320,000	0
その他の活動収入計(7)	320,000	320,000	0
支出			
長期運営借入金償還支出	8,004,000	8,004,000	0
その他の活動支出計(8)	8,004,000	8,004,000	0
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-7,684,000	-7,684,000	0
当期資金収支差額合計	26,158,347	25,707,258	451,089
前期末支払資金残高	362,704,282	362,704,282	0
当期末支払資金残高	388,862,629	388,411,540	451,089

法人単位事業活動計算書

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収入			
介護保険事業収益	1,141,772,652	1,082,575,960	59,196,692
その他事業収益	17,727,158	26,592,751	-8,865,593
経常経費寄附金収益	39,516,808	20,643,575	18,873,233
サービス活動収益計(1)	1,199,012,618	1,129,812,286	69,200,332
費用			
人件費	697,805,094	682,153,961	15,651,133
事業費	109,962,666	97,950,358	12,012,308
事務費	180,385,044	175,643,390	4,741,654
仕入費用	59,683,372	69,670,595	-9,987,223
減価償却費	87,493,829	91,897,545	-4,403,716
国庫補助金等積立金取崩額	-7,934,192	-7,723,735	-210,457
サービス活動費用計(2)	1,127,395,813	1,109,592,114	17,803,699
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	71,616,805	20,220,172	51,400,833
収入			
受取利息配当金収益	24,646	2,121	22,525
その他サービス活動外収益	12,147,195	13,774,001	-1,626,806
サービス活動外収益計(4)	12,171,841	13,776,122	-1,604,281
費用			
支払利息	14,300,230	15,670,522	-1,370,292
その他サービス活動外費用	1,211,947	38,267	1,173,680
サービス活動外費用計(5)	15,512,177	15,708,789	-196,612
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-3,340,336	-1,932,667	-1,407,669
経常増減差額(7)=(3)+(6)	68,280,669	18,287,505	49,993,164
特別増減の部			
収入			
施設整備等補助金収益	4,754,000		4,754,000
特別収益計(8)	4,754,000		4,754,000
費用			
固定資産売却損・処分損		1	-1
国庫補助金等特別積立金積立額	4,754,000		4,754,000
特別費用計(9)	4,754,000		4,753,999
特別増減差額(10)=(8)-(9)			1
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	68,280,669	18,287,504	49,993,165
法人税・住民税及び事業税(12)	1,000,000	600,000	400,000
当期活動増減差額(13)=(11)-(12)	67,280,669	17,687,504	49,593,165
前期繰越活動増減差額(14)	419,823,307	402,135,803	17,687,504
当期末繰越活動増減差額(15)=(13)+(14)	487,103,976	419,823,307	67,280,669
減価償却の部			
基本金取崩(16)			
その他の積立金取崩額(17)			
次期繰越活動増減差額(18)=(15)+(16)+(17)	487,103,976	419,823,307	67,280,669



虹の会で一緒に働く 仲間を募集しています!



立花あまの里・・・介護職員(正職員・パート)夜勤可能な方大歓迎
送迎運転手

働く曜日・時間は
相談にのります!
短時間勤務OK!

あまの里・・・介護職員(正職員・パート)夜勤可能な方大歓迎
看護師(正看・准看)
送迎運転手

ヘルパーステーション・・・訪問介護職員(パート)
(なにわ・さくら・みのり) 登録ヘルパー

デイサービス木かげ・・・看護師(パート)・介護職員

さぼーと・・・福祉用具専門相談員



資格取得助成制度・共済補助あり
給与等の処遇についてはお問合せください。
施設、事業所の見学はお気軽にお声掛けください!
●お問合せ 虹の会事務局本部 **06-6495-4708**



お問合せ

- 高齢者総合福祉施設
あまの里
尼崎市下坂部3-2-40
06-6495-4750
- 特別養護老人ホーム
立花あまの里
尼崎市水堂町1-10-37
06-6434-5050

- 福祉用具レンタルサービス
さぼーと
尼崎市水堂町1-10-37
06-4962-3985

- デイサービス 木かげ
尼崎市南武庫之荘10-62-17
06-6436-2838

- ヘルパーステーション
なにわ
尼崎市大庄西町2-29-15
06-6411-8640

- ヘルパーステーション
さくら
尼崎市潮江3-18-19-2
06-4960-7201

- ヘルパーステーション
みのり
尼崎市今福1-1-28-106
06-4868-8911

編集後記



あつという間に上半期が終わり日差しが熱い7月となりました。

いきなり滝のような雨が降ったり、カンカン照りでも湿度が高かったり：相変わらず天候に振り回されています。

「コロナウイルスが5類感染症に移行してから、展示会などのイベントが増えた気がします。

静かな涼しい室内で3密を意識しながら絵画やアート作品を鑑賞する「芸術の夏」を過ごしたいです。

皆さんごまめに水分補給をして、体調に気を付けてお過ごしください。

発行 社会福祉法人
虹の会
尼崎市下坂部3-2-40
06-6495-4708

